

# 寸

画数 3  
六年 筆順 オンスン

成り立ち



手の形を表した「寸」に、手首にある脈所（すじ）を示すための「、」を加えて作った字です。

「手首から脈所までの長さ」を表した字です。およそ指一本の幅の長さで、短い長さの「単位」を表すのに使います。

「尺（695）」の十分の一の長さで、「長さ」という意味に使われます。【例】寸法。

「ごくわずか」という意味にも使われます。【例】寸分、寸秒、寸暇、寸時、寸志、寸鉄、寸土。

また、「方寸」という使い方もあります。これは「一寸四方の大きさ」という意味のことですが、「心」という意味に使われます。

# 盛

画数 11  
六年 筆順 ノ斤成盛 オンセイ・シヨウ フン もりる・さかかん

成り立ち



「物事がりっぱに仕上がる」という意味の「成（せい）」（452、呉音はジョウ）と、「皿」という字を組み合わせて作った字です。

「皿の上に食べ物が『見事に』『もられ』ている」ことを表した字です。「山盛りに『盛る』」という意味の字です。【例】盛り土、盛り花、山盛り。

「見事」「りっぱ」「さかん」「さかり」などの意味に使われます。【例】盛装、盛名、盛会、盛況、盛大、全盛、盛夏、隆盛、繁盛。

使い方

▽幼い時に聞いた話の中では、一寸法師のお話が一番好きでした。でも、一寸法師は針が持てたのだから、一寸ばかりではなかったと思います。

▽二宮金次郎は、寸暇をおしんで働き、働く時にも本を読んで勉強したので、りっぱな人になりました。

熟語例

▽寸法（法は「メートル法」「尺貫法」の法で、「社会で決められている『さまり』としての長さ」という意味の言葉です。【例】靴の寸法を測る。）

▽寸暇（わずかな暇）

▽寸時（わずかな時間）

▽寸秒（わずかな時間。秒は最も短い時間の単位）

▽寸刻（わずかな時間。刻は「時の刻み」）

▽寸分（分は一寸の十分の一の長さ。きわめてわずかなこと。【例】寸分のくらいも無い）

▽寸土（わずかな土地）

▽寸前（ほんの少し前。直前。また、「すぐ目の前」の意味にも使います。）

▽寸断（細かく断ち切ること。ずたずたになること。）

使い方

▽中学生のわたしの兄は、食欲が旺盛で、山盛りのご飯を三ばいも食べます。

▽ぼくたちの作品を家の人たちに見てもらおう展示会はず想以上に盛会でした。

▽わたしたちの町は東京に近いので、この二十年間に急に繁盛したのだそうです。

熟語例

▽旺盛（旺は日の光が「さかん」なこと。「非常にさかん」という意味に使われます。）

▽山盛り（茶わんにご飯を山のように高く盛りつけること。）

▽盛会（盛んな会。会が盛んなこと。）

▽盛況（盛んなありさま。盛んな様子）

▽盛装（盛んな装い。花やかに着飾ること。）

▽盛大（盛んで、規模が大きいこと。【例】祝勝会が盛大に行われました。）

▽繁盛（繁は「ふさふさとしたひもの飾り」のことですが、「木が盛んにしげる」意味にも使われます。商売などが盛んに行われて活気があることを言います。）